



実りの時

立冬を過ぎ、少し時期がずれてしまいましたが、先月から 12 月にかけて、本校の“実り”を実感できることが多くあります。

本校は、E S D（持続発展可能な開発のための教育）の考えを教育活動に取り入れています。学校教育における E S D の取り組みは、人格の発達や自律心、判断力、責任感などの人間性を育むことや、他人や社会や自然との関係性を認識し、かかわりやつながりを尊重できる人を育むことにつながっていきます。

この取り組みは、生活科・総合的な学習の時間を核とし、各教科や道徳・特別活動等との横断的な学習として 5 年目を迎えました。全校統一テーマ「ふるさと甚目寺ーかかわる つたえる つながる」を掲げ、全学年とも地域を深く知り、愛着をもって自分たちにできることを考え実践する年間活動に取り組んできました。

■ 総合学習発表会 11 月 21 日（金）午前

子どもたちの「つたえる」活動です。詳しくはプログラムをご覧ください。

■ これまで積み上げてきた取り組みを世の中に紹介し、多方面からのご意見をいただきながらステップアップを図る機会を多く得ました。ここにその一部を紹介します。

・あま市民活動祭（10 月 11 日 市内）

代表児童による活動紹介

・県道徳教育推進会議による視察

（10 月 16 日 全学級の道徳公開授業）

「地域に根ざした創意工夫ある E S D 活動と道徳教育の連携」

・E S D 子ども会議ユネスコスクール登録校によるポスターセッション（10 月 26 日 名古屋市）

6 年生各学級代表による「われら歴史文化調査隊」の活動紹介

・E S D 子ども会議グループ討議（10 月 26 日 名古屋市）

代表児童による他校生との討論会

地域の文化保全について、これまで現地調査や討議等に参加（昨年度 4 回 今年度 7 回）

・E S D ユネスコ世界会議の子ども全体会議

（11 月 10 日 名古屋市）

代表児童によるこれまでの討議内容について紹介報告

・E S D 交流セミナー（11 月 12 日 名古屋市）

前野前校長による提言

「自己肯定感を育む E S Dーこれからの教育への提案ー」

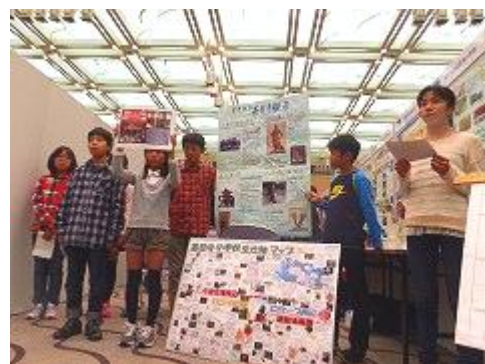
・人権週間記念集会（12 月 11 日 名古屋市）

「あま市の取り組み」の中で甚目寺小学校の取り組みと活動を紹介

※ 1 月・2 月にも同様の機会が予定されています。



【E S D 子ども会議グループ討議】



【E S D 子ども会議ポスターセッション】

伝える活動（委員会活動）

11月7日（金）に2つの集会が行われました。

1つは、朝の会の時間を中心に行われた図書館まつり。図書の紹介、本についてのクイズ、図書委員による読み聞かせが行われました。中でも東日本大震災の実話をもとにした「ひまわりのおか」の読み聞かせは、図書委員の読みと本の挿し絵の映像とBGMにより感動あるものとなりました。

もう一つは、5時限目に行われた学校保健委員会。「よりよい生活習慣をめざして」というテーマで、生活アンケート結果の報告、保健委員会制作のビデオ上映、この2つを受けての保健センター保健師の方の講話が行われました。保健委員会制作のビデオは、キャストやナレーションを子どもたちが担当し、睡眠の大切さと規則正しい生活についてわかりやすい内容にまとめられたものでした。

いずれも、記憶に残っていくようなできばえでした。委員会のみなさんが伝えたいことをはっきりさせ、自分の言葉で表現できたことがすばらしかったと思います。



【図書館まつり】



【学校保健委員会】

冬支度

防寒着についての約束がありますので、お知らせします。

首回り	登下校のネックウォーマーは可 ・マフラーは、いろいろなところへの巻き込みの恐れがあり、認めていません。
体育時の服装	ジャージ（下）の着用は可 ・ジャージの上着は、準備運動後に脱ぐことを原則とします。 ・汗冷え対策として、体育時と生活時の使い分けを指導します。
手	登下校の手袋は可 ・休み時間や体育の時間は着けないことを基本にします。
足	スパッツ・タイツは可 ・体育時の汗冷えに気をつけることを指導します。
その他	ベンチコートのようなひざにかかる上着は不可

※持ち物への記名を確認して下さい。

毎日見ることの大切さ

教師の週案の一部です。「校内巡回の回数を増やしてきた。危険な箇所の発見だけでなく、“昨日（いつも）と違うところ”に気づくことが大切だと思いました」

毎日見ているから、いつもとのわずかな違いや成長がわかるものです。同じことは、靴箱の様子からも知ることができます。「今日もかかとが踏まれている」（きちんと靴を履く余裕がないのか？これではいざというときに走れない。）それが、ある日「かかとが立っている」ように変わることに気づきます。（きちんと歩いているんだな。）人間は小さなことでさえも続けることにより、知らず知らずに変化に敏感になるものです。だからこそ、この反省のような気づきを多くの人で共有できるとよいと思うのです。